

ジェンダー視点から考える安全保障

安保理決議 1325 号 国内行動計画 (1325NAP)

5/31 外務省との意見交換会 in 九州 に向けて

安保理決議 1325 号国内行動計画 (1325NAP) とは、安全保障政策の意思決定や平和構築に女性の参加を促すための、国連安全保障理事会決議 1325 号「女性・平和・安全保障」を、各国で実現していくための政策文書です。この画期的な決議 1325 号は、2000 年に国連安全保障理事会決議で採択されたもので、すべての国は国内行動計画、1325NAP を策定、実施することになっています。

日本では現在、政府・NGO・学識経験者が参加して、日本版 1325NAP の草案が検討されています。この一環として、草の根の意見を反映させるため、外務省は各地で市民社会との意見交換を開催しております。

九州地域では、5 月 31 日 (土) 14:00~16:00、(公財) アジア女性交流・研究フォーラムとの共催により、北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5 階小セミナールームで開催されます。

詳細は：http://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page24_000278.html

しかしながら、この日本版 1325NAP および草案作成の動きはあまり広く知られていません。

たまたま、1325NAP 策定過程に向けた市民社会組織である「1325NAP 市民連絡会」のコーディネーターの本山央子さんが、5 月 29 日に福岡にお見えになることがわかりましたので、またとない機会と考え、意見交換会に向けての勉強会を企画しました。

意見交換会の参加の有無にかかわらず、決議 1325 号の意味、1325NAP の役割、日本版 NAP の策定プロセスと市民社会による活動、そして現在議論されている草案内容のポイントについて学習・共有する機会としたいと思います。日本が国際平和と女性の人権実現に貢献し、安全保障にかかる意思決定にジェンダー視点を生かすための貴重な機会です。是非ご参加ください。

日時： 2014 年 5 月 29 日 (木) 18 時 30 分~20 時 30 分

場所： 福岡市立婦人会館 あいれふ 8F 視聴覚室 A

(〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 2 丁目 5 番 1 号 <http://www.city.fukuoka.lg.jp/fujin-kaikan/access.html>)

参加費： 資料代印刷費 (500 円程度) (資料を準備しますので参加者は事前にご連絡ください)

話題提供者： 本山央子さん (「1325NAP 市民連絡会」コーディネーター)

*本山央子 (もとやまひさこ) さんプロフィール

安保理決議 1325 号国内行動計画 (1325NAP) に向けて市民社会からの提言をまとめる「1325NAP 市民連絡会」コーディネーター。国際環境 NGO「FoE ジャパン」開発金融政策アナリスト、アジア女性資料センター事務局長等を経て現職。

問合せ・申込先： 織田由紀子 y.oda@ksks.info 080-3950-5599

開催協力： 北京 JAC ふくおか